Creative Workflow および Asset Library 3.0（Prepress Portal との統合）

リリース ノート
日本語

739-00251C-JA 改訂 A

著作権

© Kodak, 2007. All rights reserved.

Kodak、Creo、InSite、および Matchprint は、コダックの商標です。

Acrobat、Adobe、Distiller、Illustrator、PageMaker、Photoshop、および PostScript は、Adobe Systems, Inc. の商標です。

Apple、AppleShare、AppleTalk、iMac、ImageWriter、LaserWriter、Mac OS、Power Macintosh、および TrueType は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標であり、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録されています。

Hexachrome、PANTONE、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM の所有権は、Pantone, Inc. に帰属します。

PEARL、PEARLdry、PEARLgold、PEARLhdp、および PEARLsetter は、Presstek, Inc. の登録商標です。

XEROX は、XEROX CORPORATION の商標です。

http://graphics.kodak.com/

739-00251C-JA 改訂 A

最終更新日：２００７ 年 ９ 月

目次

はじめに 1
このリリース ノートについて 1
新機能 1
解決済みの問題 8
現在の問題点 9
サポートされるプロキシ サーバー 12

はじめに

このリリース ノートでは、Kodak® InSite™ Creative Workflow および Kodak InSite Asset Library 3.0 システムに加えられた変更点および改善点について説明します。

Creative Workflow および Asset Library 3.0 は、Kodak InSite 4.5 ソフトウェアおよび Kodak InSite Prepress Portal 5.0 システムの両方に対応しています。このリリース ノートは、InSite 4.5 または Prepress Portal 5.0 のいずれかとの統合環境で使用される Creative Workflow および Asset Library を対象としています。

このリリース ノートについて

このリリース ノートには以下のセクションが含まれています。

- 「新機能」では、ソフトウェアに追加された新機能、および既存機能の改善点について説明します。
- 「解決済みの問題」では、以前のリリース以降に解決された問題を一覧で示します。
- 「現在の問題点」では、まだ解決されていない問題を一覧で示します。
- 「サポートされるプロキシ サーバー」では、プロキシ サーバーを使用する場合の必要条件および制限事項について説明します。

新機能

このセクションでは、Creative Workflow および Asset Library ソフトウェアの新しいリリースで追加された機能、および改善された既存機能について説明します。

イベント通知およびレポート

履歴データベースでユーザー アクション（イベント）を追跡して、特定のイベントに関する通知を受けることができます。たとえば、プロジェクトの作成、エレメントのアップロード、タスクの作成、タスク ステータスの設定などのイベントが追跡されます。

イベントが発生するたびに個別の E- メール メッセージによるイベント通知を受信し、1 日のイベントの概要を示す通知を日単位で受信するように設定できます。（概要の配信時刻は、InSite Creative 管理ページの［**構成設定**］> ［**通知**］から設定できます。）

通知の設定は、ユーザーがアクセスする対象（プロジェクトまたはライブラリ）を指定するためにユーザーに割り当てられている権限に関連付けられています。この設定により、ユーザーに通知されるイベントが決まります。権限に応じた通知設定は InSite Creative 管理ページで行いますが、Web ブラウザで［**ユーザー情報の編集**］をクリックして、ユーザー自身が既定の設定を上書きし、通知対象のイベントや通知形式を変更することができます。「アクセスの管理」権限を持つユーザーは、［ユーザー情報の編集］表示で、他のユーザーの既定の通知設定を変更することもできます。

また、イベント レポートを生成することもできます。イベント レポートとは、選択した 1 つまたは複数の種類（アップロード、ダウンロード、タスク関連など）のイベントの発生状況の概要を、指定した期間、および指定した顧客に関する選択したプロジェクトまたはライブラリ（または、すべてのプロジェクトまたはライブラリ）に基づいて示したものです。

スタッフ ユーザーは、InSite Creative 管理ページに追加された［**レポート**］リンクを使用して、イベント レポートを生成することができます。顧客ユーザーは、Web ブラウザの［顧客管理］表示、［プロジェクト管理］表示、または［ライブラリ管理］表示から、自分のプロジェクトおよびライブラリのイベント レポートを生成することができます。

レポートは、カンマ区切り値ファイル（.csv）として生成され、Microsoft® Excel® で表示して保存することができます。

Smart Review

Smart Review のインターフェイスは大幅に変更されましたが、以前の機能はすべて搭載されています。コントロール（ズーム用スライダ コントロールなど）およびレイアウトの改善により、Smart Review の外観および操作性が向上しています。Smart Review は今回、アプレットとしてではなく、自動的にダウンロードされる Sun™ Java™ ソフトウェアとして実行されます。また、表示パフォーマンスが向上し、画像の読み込みおよびズームが高速化されました。

新機能および改善点は、次のとおりです。

- ドッキング可能なフローティング ウィンドウ
- フローティングまたはドッキング可能な操作パレット
- Smart Review の［環境設定］ダイアログ ボックスでの指定により、"ホワイト モード" または "ブラック モード" の切り替えが可能
- キーボード ショートカット（SPACE キーを押して、アクティブなツールを一時的にパン ツールに変更する機能など）
- 直角ルーラー ツール
- 画像全体を拡大せずに特定領域をすばやく拡大可能なズームイン ツール
- さまざまな図形を描画し、すべてを 1 つのテキスト注釈に関連付けることが可能なマルチ注釈ツール
- モニタの色域外にあるカラーを識別する［ガモット外の表示］機能（カラー承認タスクが割り当てられたエレメントを表示する場合、または［タスクなし］モードで選択されたカラー ターゲットを含むエレメントを表示する場合）
- ［比較］モードでの、各画像の個別回転機能
- 現在のエレメントと同じフォルダにある全エレメントのサムネイル表示機能
- マルチページ エレメントのサポート強化
- テキスト注釈（メモ）を図形注釈（ライン、四角形、円）に関連付けする機能
- エレメント間での注釈のコピー／貼り付け機能
- 個別の注釈へのステータス設定機能（管理者権限を持つユーザーのみ）
- 注釈へのステータス設定時にコメントを入力する機能
- ［注釈マネージャー］ダイアログ ボックスでは、次の操作を実行できます。
    - さまざまな方法（注釈の種類、カラー、ステータスなど）による注釈のグループ化
    - 個別の注釈または注釈グループの表示／非表示の切り替え
    - 新規注釈を追加する際のカラーの変更
    - 注釈の種類、作成者、作成日時、およびカラーの表示
    - 注釈ステータスの表示および設定

注釈

- Smart Review では、全体が改善されただけではなく、注釈をエレメントの特定の更新履歴に関連付けることができるようになりました。Smart Review でエレメントを表示し、そのエレメントの特定の更新履歴を選択して注釈を追加すると、その注釈は、その更新履歴を表示した場合にのみ表示されます。エレメントの特定の更新履歴に関連付けられた注釈は、それ以外の更新履歴を表示しても表示されません。

  新しい注釈は、システムを Creative Workflow および Asset Library 3.0.2 以降へ更新した後にアップロードされるエレメントおよびエレメントの更新履歴のうち、特定の更新履歴にのみ関連付けることができます。システムを 3.0.2 以降へ更新する前に注釈を関連付けたエレメントがプロジェクト内に存在する場合、その注釈は、そのエレメントの新しい更新履歴をアップロードするまで、エレメントの全更新履歴に関連付けられています。エレメントの新しい更新履歴をアップロードすると、エレメントの既存の注釈はすべて、自動的に前の更新履歴に関連付けられます。新しい更新履歴は、そのエレメントの既存の注釈には関連付けられません。

- 注釈レポートは、プルーフ レポートと言う名前に変更されました。
- マルチページ エレメント用のプルーフ レポートを生成できるようになりました。Smart Review でマルチページ エレメントのページを表示するには、[**ファイル**] > [**プルーフ レポートの生成**] の順に選択します。ダイアログ ボックスが表示され、レポートに含めるエレメントのページを指定できます。[タスク] 表示から、エレメントのプルーフ レポートを生成することもできます。この場合、マルチページ エレメントのレポートを生成すると、エレメントの全ページが自動的にレポートに含まれます。
- Smart Review でエレメントのプルーフ レポートを生成する場合に、レポートに含める情報を指定することもできるようになりました。

カラー マネジメント

- カラー ターゲットのプルーフ プロファイルを選択する際に、N-カラー プロファイルがサポートされるようになりました。この機能により、スポット カラー再現の精度が向上します。
- 各顧客が使用可能なカラー ターゲットを制御できるようになりました。使用可能なカラー ターゲットは、InSite Creative 管理ページに追加された [**カラー ターゲットの関連付け**] セクションで設定します。
- Smart Review でのスポット カラーのソース情報の表示が改善されました。たとえば、Smart Review の [色版] ダイアログ ボックスでは、スポット カラー名の上にマウスを移動するとツールヒントが表示され、スポット カラー情報の提供元が、スポット カラー データベース、元のファイル、または N-カラー プロファイルのいずれであるかが示されます。

タスク

- 承認タスクを作成する場合、新しい［**パスワード認証を使用して承認**］オプションを使用すると、タスクを割り当てられたユーザーがタスクのステータスを設定するために、システム パスワードを入力する必要があるかどうかを指定できます。
- Kodak InSite Desktop ソフトウェアを使用している場合は、［タスク］表示でタスクを選択して、［**アクション**］> ［**タスクの編集**］から、タスクにユーザーを追加したり、タスクからユーザーを削除することができるようになりました。
- Desktop では、［タスク］表示でユーザーを選択して、［**アクション**］> ［**ユーザーのタスク ステータスをリセット**］から、ユーザーのタスク ステータスをリセットできるようになりました。これは、ユーザーがステータスの設定を誤った場合などに便利な機能です。
- Desktop では、タスクの割り当てを受けていながら、タスク ステータスを設定していないユーザーに、E- メールでリマインダ メッセージを送信できるようになりました。これを実行するには、［タスク］表示でタスクを選択して、［**アクション**］> ［**タスク リマインダの送信**］の順に選択します。既定のメッセージが用意されていますので、必要に応じて変更してください。

  タスク リマインダを送信するには、ユーザーに「タスクの管理」権限を含むプロジェクト権限が割り当てられている必要があります。

ユーザー アクセスの管理

- ［ユーザー アクセスの管理 - プロジェクト］または［ユーザー アクセスの管理 - ライブラリ］表示では、ユーザーの情報アイコンをクリックして、ユーザー アカウント情報を表示および変更できるようになりました。
- ツールバーの［管理］リンクは、コンテキスト センシティブになりました。現在の表示に応じて、［顧客管理］表示または［プロジェクト／ライブラリの管理］表示のいずれかに移動します。顧客の［管理］表示のカラーおよびアイコンは、［プロジェクト／ライブラリの管理］表示とは異なるため、現在の表示がどちらであるか視覚的にわかります。［プロジェクト／ライブラリの管理］表示には、顧客の［管理］表示に移動するためのリンクが用意されています。

ユーザー権限

- 新しいプロジェクト ユーザー権限である「エレメントの表示」権限を使用すると、プロジェクトの［エレメント］表示を参照することができます。ユーザーがこの権限を所有しない場合は、［タスク］表示および［アップロード］表示のみを参照できます。
- 新しいユーザー権限である「自分のタスクを表示」権限を使用すると、割り当てられた全タスクを、プロジェクトの［タスク］表示で参照することができます。ユーザーがこの権限を所有しない場合は、［エレメント］表示および［アップロード］表示のみを参照できます。
- ユーザーは、「エレメントの表示」権限または「自分のタスクを表示」権限のいずれか 1 つを所有する必要があります。
- 「タスクの表示」権限は、「すべてのタスクを表示」という名前に変更されました。「すべてのタスクを表示」プロジェクト ユーザー権限を使用すると、［タスク］表示ですべてのタスク（自分と他のユーザーに割り当てられた全タスク）を参照することができます。
- 新しいプロジェクト ユーザー権限である「すべての注釈とそのステータスの表示」権限を使用すると、Smart Review を使用して、他のユーザーが画像に追加したすべての注釈と、それぞれの注釈のステータスを表示することができます。ユーザーがこの権限を所有しない場合は、自分で追加した注釈のみが表示され、注釈のステータスは表示されません。
- Smart Review で注釈のステータスを設定するには、「タスクの管理」プロジェクト ユーザー権限が必要になりました。

ユーザー グループ

ユーザーの所属するユーザー グループが、そのユーザーの［ユーザー情報の編集］表示にすべて一覧表示されるようになりました。ユーザーが個人として割り当てられている権限、および各グループのメンバーとして割り当てられている権限も、個別に表示されます。

また、ユーザーがグループのメンバーとして割り当てられている権限に関連するイベント通知の設定を上書きすることもできます。（イベント通知の詳細については、1 ページの「イベント通知およびレポート」を参照してください。）

フォント

InSite Creative 管理ページで、［**構成設定**］>［**ワークフロー**］の新しい 2 つのオプションを使用すると、サーバーの処理で Adobe® PostScript® および EPS ファイルにフォントを埋め込むことができます（PDF ファイルは未対応）。また、PostScript、EPS、または PDF ファイルでフォントが不明の場合は、処理をエラーとして終了することができます。

処理をエラー終了するオプションを有効にした場合、フォントが不明のために処理がエラーで終了すると、不明なフォントはアップロード エラー メッセージとして報告され、ページ上には赤い大きな X が表示されます。

XMP 承認メタデータ

Creative Workflow 3.0 では、タスクに関連付けられたエレメントの XMP 承認メタデータをダウンロードすることが可能になりました。XMP 承認メタデータとは、タスクを割り当てられたすべてのユーザーに、エレメントのタスク承認ステータスの概要を示すものです。エレメントの XMP メタデータは、手動でダウンロードすることも、ダウンロード ホット フォルダを使用して自動的にダウンロードすることもできます。（ダウンロード ホット フォルダの詳細については、6 ページの「ダウンロード ホット フォルダ」を参照してください。）

XMP メタデータのダウンロードには、Web ブラウザではなく、Desktop を使用します。

エレメントの XMP メタデータを手動でダウンロードするには、プロジェクトの［タスク］表示でエレメントを選択してから、［**ファイル**］>［**新規ダウンロード**］の順に選択します。［**ダウンロード タイプ**］一覧で、［**XMP 埋め込み済み**］または［**XMP サイドカーのみ**］を選択します。［**XMP 埋め込み済み**］を選択すると、XMP メタデータが埋め込まれたエレメントがダウンロードされます。［**XMP サイドカーのみ**］を選択すると、XMP メタデータのみが .xmp ファイルとしてダウンロードされ、エレメント自体はダウンロードされません。

Creative Workflow では XMP 承認メタデータを生成しますが、既存のメタデータを読み込みむことはできません。

ダウンロード ホット フォルダ

Microsoft® Windows® バージョンの Desktop では、新しいタイプのホット フォルダを使用できます。（Apple® Macintosh® バージョンの Desktop または Web ブラウザでは使用できません。）プロジェクト用に " ダウンロード " ホット フォルダを作成すると、そのプロジェクトのタスクが完了するたびに、タスクに関連付けられた各エレメントの XMP 承認メタデータが、指定したホット フォルダに自動的にダウンロードされます。

ダウンロード ホット フォルダは、各エレメントに XMP 承認メタデータを埋め込んでダウンロードするか、エレメント自体はダウンロードせずに XMP メタデータのみを .xmp ファイル形式でダウンロードするように設定します。

ダウンロード ホット フォルダを作成するには、Desktop for Windows で対象のプロジェクトを開き、［**ファイル**］>［**新規ダウンロード ホットフォルダ**］の順に選択します。ホット フォルダを作成したら、［**ウィンドウ**］>［**ダウンロード ホットフォルダ**］の順にクリックして、表示および編集できます。

ダウンロード ホット フォルダを作成すると、エレメントに関連付けられたタスクがホット フォルダの作成後に完了する場合にのみ、そのエレメントが自動的にダウンロードされます。

ダウンロード ホット フォルダを使用すると、プロジェクトで完了したすべてのタスクに関連付けられたエレメントがダウンロードされます。特定のタスクに限定してダウンロードすることはできません。

Desktop for Mac

- Kodak Synoptic Desktop ソフトウェアは、Kodak InSite Desktop ソフトウェアという名前に変更されました。
- Desktop for Mac では、［エレメント］表示の下に追加された " 位置表示 " を参照すると、現在の場所をすばやく確認することができます。

  スタッフ ユーザーとしてログオンした場合は、位置表示には顧客名が含まれます。
- マルチページ エレメントのサポートが強化されました。新しい HUD ダイアログ ボックスを使用すると、マルチページ エレメントの全ページのサムネイルを表示することができます。
- プロジェクト間およびライブラリ間でのエレメントの移動が可能になりました。

Desktop for Windows

- Kodak Synoptic Desktop ソフトウェアは、Kodak InSite Desktop ソフトウェアという名前に変更されました。
- Desktop for Windows では、次の操作が可能になりました。
  - エレメントのアップロード
  - ドラッグによる、プロジェクトまたはライブラリ内でのエレメントおよびフォルダのコピーと移動
  - エレメントの名前変更
  - フォルダの作成、削除、コピー、および移動
  - ホット フォルダの作成および管理
  - エレメントの更新履歴の操作
  - エレメントの高解像度バージョンの表示
  - タスクへの期日の割り当て
  - オート タスクの作成および操作
  - ［エレメント］表示からのタスク ステータスの設定
  - エレメントへのソース プロファイルの割り当て
  - アクセスの管理（プロジェクトおよびライブラリ レベルでのユーザー権限の割り当て）
  - ソフトウェアの自動更新の使用
  - ファイル転送完了通知の自動受信（Mac の Growl 通知に相当）
  - Desktop のリセットまたは Desktop のキャッシュのクリア

  Desktop の基本アーキテクチャも改善され、ソフトウェアの信頼性と安定性が向上しました。

問題の報告

Desktop では、問題が発生したり、システムの応答が停止した場合に、レポートを送信できるようになりました。

Desktop for Mac の場合は、［**Kodak InSite Desktop**］> ［**問題をコダックに報告**］の順に選択し、Desktop for Windows の場合は、［**ヘルプ**］> ［**問題をコダックに報告**］の順に選択して、［Bug Report］ダイアログ ボックスを表示します。発生した問題に関する詳細を入力します。この情報および自動的に収集される情報（ログ ファイル、スクリーン ショット、サーバー情報、Desktop のバージョン、ワークステーション情報、ユーザー名など）を含む圧縮ファイルが自動的に作成されます。その後、圧縮ファイルは自動的に保存されるか、コダックのサーバーに送信されて回収および解析されます。

［Bug Report］ダイアログ ボックスは、Desktop が応答しなくなったときにも自動的に表示されます。

解決済みの問題

このセクションでは、Creative Workflow および Asset Library ソフトウェアの本バージョンで修正された問題について説明します。

Smart Review

Smart Review からファイルへのエレメントの出力機能は、プロジェクト内にそのファイルが存在する場合に限り使用できるようになりました。エレメントがライブラリ内に存在する場合は使用できません。

タスク

Desktop（Mac および Windows 両バージョン）では、エレメントが関連付けられていないオート タスクは、［タスク］表示に表示されません。オート タスクは、エレメントがアップロードされてタスクに関連付けられるまで表示されません。

ユーザー アクセスの管理

以前のバージョンでは、プロジェクトまたはライブラリ レベルで「アクセスの管理」権限を所有するユーザーは、所有するプロジェクトまたはライブラリの権限より下位の権限を、顧客レベルで自分に割り当てることができました。（つまり、「アクセスの管理」権限を含まない権限を割り当てることができました。）その場合、そのプロジェクトまたはライブラリの「アクセスの管理」権限を自分で再び有効にすることはできませんでした。今回のバージョンでは、ツールバーで自分のユーザー名をクリックして、ユーザー アカウントおよび割り当てられた全レベルの権限を表示する際に、顧客レベルで「アクセスの管理」権限を所有しているかどうかをシステムが判定し、所有している場合は、プロジェクトまたはライブラリ レベルでのアクセス管理も自動的に許可されます。

Desktop

- エレメントの新しい更新履歴をアップロードするか、エレメントを追加または削除するたびに、各プロジェクトおよび各ライブラリのエレメント数が自動的に更新されるようになりました。
- Desktop for Windows では、InSite または Prepress Portal に統合されている場合にジョブの進行状況が表示されるようになりました。

管理

InSite Creative 管理ページの［**構成設定**］>［**ワークフロー**］>［**ライブラリからの低解像度 JPEG 画像のダウンロードを許可**］の設定が有効になりました。

現在の問題点

このセクションでは、ソフトウェアのこれまでにわかっている問題について説明します。以前のリリースからの未解決の問題と、新たに認識された問題があります。

イベント通知およびレポート

- 履歴レポートの生成に時間がかかる場合があります（特に Mac）。
- ユーザーがエレメントまたはフォルダをコピーした際に生成される E- メール メッセージで、ユーザー名が "none" と表記され、名前を特定できません。
- Creative Workflow および Asset Library 3.0 と Prepress Portal 5.0 との統合システムでは、他のユーザーのプロジェクトおよびライブラリのイベント通知を表示することができません。

  ［管理］表示でユーザーのアカウントを表示している場合、制御できるのは、そのユーザーに送信される管理通知およびジョブ イベント通知のみです。プロジェクトまたはライブラリ内で作業中の場合は、他のユーザーのアカウント情報を表示できません。Prepress Portal 5.0 統合システムでは、自分のプロジェクトおよびライブラリのイベント通知のみを表示および変更できます。

Smart Review

- ［**ファイルに出力**］メニュー アイテムでは、スポット カラーを含むファイルを出力することはできません。
- ［Smart Review］ウィンドウのサイズを変更すると、［カラー ターゲット］ウィンドウ枠が自動的にドッキングされてしまう場合があります。
- 画像を回転すると、画面サイズに合わせる機能が正常に動作しません。回転方向によって、画像はさまざまな倍率で拡大されます。
- モニタの色域外にある画像の色を表示するために［**表示**］>［**ガモット外の表示**］の順に選択して画像を表示し、その画像を回転すると、回転後の画像が正常に表示されません。
- グループ レビュー セッションに関して、次のような問題があります。
  - セッション コントローラが色版の表示／非表示を切り替えると、それに応じて他のユーザーの表示も更新されますが、各ユーザーの［色版］ダイアログ ボックスで選択された色版が更新されません。
  - 解像度が異なるモニタでは、最初に画像を開いたときの拡大倍率が異なります。
  - 「エレメントの表示」プロジェクト ユーザー権限を持たないユーザーの場合、グループ レビュー セッションの機能の一部が使用できません。

プルーフ レポート

新しいチャット コメントをエレメントに関連付けても、そのエレメントのプルーフ レポートの内容は更新されません。レポートの内容は、エレメントに別のアクション（エレメントへの注釈の追加など）が発生しない限り更新されません。

Matchprint Virtual

Kodak Matchprint® Virtual キャリブレーション ソフトウェアは、Apple Mac OS® X 10.4 でのみ動作します。Mac OS X 10.3.9 では動作しません。

タスク

アクティブでないタスクを削除できません。

ユーザー グループ

- 新しいユーザー グループには、既存のグループと同じ名前を付けることはできません。ただし、既存のグループと新しいグループに同じ名前を付けることができないのは、大文字小文字の組み合わせがまったく同じ場合のみです（Group2 と Group2 など）。名前の大文字と小文字の組み合わせを別にすれば、新しいグループを作成することができます（Group2 と group2 など）。
- タスクがユーザー グループに割り当てられ、そのグループの 1 人のメンバーがグループ全体を代表して応答する場合、他のメンバーには、グループのタスク ステータスが設定されたことを通知する E- メールが配信されません。
- グループの 1 人のメンバーがグループ全体のタスク ステータスを設定する場合、エレメントに対して生成されるプルーフ レポートには、グループのタスク ステータスを設定したメンバーが明記されません。グループ内のすべてのユーザーに同じタスク ステータスが割り当てられます。

フォント

InSite Creative 管理ページの新しいオプションにより、サーバー プロセスで PostScript および EPS ファイルにフォントを埋め込むことができるようになりました（5 ページの「フォント」を参照）。ただし、PDF ファイルには対応していません。

エレメントおよびフォルダ

- 空のフォルダは正常にコピーできません。
- 「自分のタスクを表示」プロジェクト ユーザー権限のみを所有する（「エレメントの表示」権限または「すべてのタスクを表示」権限は所有しない）ユーザーには、プロジェクトの一部のエレメントにのみ関連するタスクを割り当てられている場合でも、Web ブラウザの［プロジェクト］表示のプロジェクト名の横、または Desktop の左ウィンドウ枠に、プロジェクト内の全エレメントを示すエレメント数が一覧表示されます。

Desktop for Macintosh

- Mac OS X 10.3.9 がサポートされています。ただし、Mac OS X 10.3.9 で Desktop を実行する場合、次の機能は使用できません。
  - プロジェクトまたはライブラリ レベルでのアクセス管理（Mac OS X 10.4 でのみ使用可能）
  - HUD（ヘッドアップ ディスプレイ）パレットでのページ スクロールのアニメーション
- ［タスク］表示でタスクを展開する場合にのみ、タスクの最終ステータスを設定できます。
- 同名の .xmp ファイルが既に存在する場所に XMP サイドカー ファイルをダウンロードする場合、ダウンロード先にあるファイルを上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。ただし、上書きを指定しても、ダウンロードはエラーで終了します。

Desktop for Windows

Desktop for Mac で使用可能な次の機能は、Desktop for Windows では現在使用できません。

- 選択リスト
- ［エレメント］表示の［詳細表示］モード。［ギャラリー表示］および［リスト表示］モードは装備されています。
- アップロード履歴
- エレメントの低解像度バージョンの表示
- 既存タスクへのエレメントの追加（タスクからのエレメントの削除は可能）
- フォルダのダウンロード
- 多言語のサポート。Desktop for Windows は現在、英語版のみが提供されています。

Web ブラウザ

- Web ブラウザを使用して特定顧客の［顧客管理］表示を開くと、［顧客管理］表示を開く前の画面またはページに直接戻ることができません。
- プロジェクトまたはライブラリ内のエレメント、または複数のエレメントを含むフォルダを表示する場合（すべてのエレメントを表示するために複数の画面が必要となる場合）、次の画面にスクロールするためのコントロールに、［**エレメント**］ではなく［**ページ**］と表示されます。

Prepress Portal 5.0 との統合

- Web ブラウザで作業する際、［ホーム］ページのプロジェクト名およびライブラリ名の横に表示される作成日が、常に 12/31/2003 と表示されます。
- Creative Workflow および Asset Library 3.0 を Prepress Portal 5.0 に統合すると、Desktop ロゴをカスタマイズすることができません。Creative Workflow および Asset Library システムをバージョン 2.1 から 3.0 にアップグレードすると、2.1 でカスタマイズした Desktop ロゴは 3.0 でも使用できます。ただし、Desktop ロゴを新しくカスタマイズすることはできません。
- 統合システムでは、プロジェクトおよびライブラリ ユーザー権限を持つマルチ顧客ユーザーの作成に時間がかかります。マルチ顧客ユーザーのプロジェクトおよびライブラリ権限は、アクセス対象の顧客ごとに個別に割り当てる必要があります。アクセス対象の顧客が多数あるユーザーの場合、顧客ごとにプロジェクトおよびライブラリ権限を割り当てるのに時間がかかります。
- 特定の顧客用のプロジェクトおよびライブラリ権限をマルチ顧客ユーザーに割り当てるには、あらかじめ、その顧客に対する InSite 権限（管理者権限またはジョブ権限）をユーザーに割り当てる必要があります。

管理

システムに Matchprint Virtual のライセンスがない場合でも、InSite Creative 管理ページで権限を作成する際、「Matchprint Virtual の使用」プロジェクト権限が選択可能オプションとして表示されます。

サポートされるプロキシ サーバー

Creative Workflow および Asset Library ソフトウェアは、CERN プロトコルを使用してプロキシ サーバーと通信します。次の要件および制限事項を確認してください。

プロキシ サーバーの要件

- 単一ポート上で、HTTP 要求と HTTPS 要求の両方をサポート
- ポート 80 と 443 上で、Creative Workflow ／ Asset Library サーバーにアクセス
- .cab または .jar ファイルをブロックしない
- ポート 443 上でトラフィックを分析しない

プロキシ サーバーへの接続に関するクライアント要件

- プロキシ サーバーの IP アドレスは、手動で設定する必要があります。
- Mac クライアントでは、プロキシ サーバーの IP アドレスは HTTP と HTTPS で個別に入力する必要があります。
- 自動プロキシ検出を無効に設定する必要があります。

サポートされる認証スキーマ

認証スキーマ	Windows または Mac クライアント上の Web ブラウザ	Mac クライアント上の Desktop	Windows クライアント上の Desktop
バイパス	はい	はい（ただし、プロキシ サーバーが Creative Workflow ／ Asset Library サーバーにアクセス可能であること）	いいえ
認証なし	はい	はい	いいえ
基本	はい	はい（ただし、統合システムでは、Desktop for Mac へのログオンはできますが、アップロード、ダウンロードおよび Smart Review は機能しません）	いいえ
NTLM（チャレンジ／レスポンス認証）	はい	いいえ	いいえ
Microsoft Kerberos	いいえ	いいえ	いいえ

注意：NTLM 認証は、Windows および Mac OS X プラットフォーム上でのみ使用可能です。Mac OS 9 では使用できません。

コダック グラフィック コミュニケーションズ株式会社
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-9

© Kodak, 2007. All rights reserved.
TM：Kodak、Creo、InSite、および Matchprint

コダックからの詳しい情報については、以下のサイトにアクセスしてください。
http://graphics.kodak.com

仕様および機能は予告なしに変更されることがあります。